

登録コード	MA744300	開講年度	2026			
授業科目名	精神看護学演習			担当教員	下里 誠二	
英文授業名	Practice in Psychiatric and Mental Health Nursing			副担当	木下 愛未	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・2時限 月曜・7時限	対象専攻 / 学年
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【研究科共通】医学系諸科学における学識と情報収集能力・分析能力、研究技術を備えており、共同もしくは単独で、それぞれの分野における諸課題を解決できる。				精神看護学における研究の知見をまとめ、課題と解決策を提示できる	
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。				精神看護学における独創性のある研究デザインが提示できる	
(2)授業の概要	精神保健，精神看護学に関する国内外の先行研究レビューを行い，プレゼンテーション，討議によって，精神保健看護学領域の知識を得て，研究的視点，課題を明らかにします。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	精神保健看護に関する情報収集能力，情報分析能力を養い文献レビューにより，精神保健・精神看護に関連した最新の知見を学ぶ。 また，精神看護学で扱うべき研究課題を明らかにする。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	1.文献調査により精神保健・看護に関する最新の知見を入手できる。 2.海外のトピックスなど関連領域の情報，先行研究から専門知識を深めるとともに，精神看護で扱うべき研究課題を列举できる。					
(5)授業計画	毎回学生と相談の上日時は決定します。 第1回から第4回.精神保健・精神看護に関する研究の動向の検討 第5回から第8回.精神保健・精神看護に関する研究の方法についての検討 第9回から第12回 関心領域の文献検討にもとづく重要な研究課題の抽出 第13回から第15回 .研究課題の精選					
(6)授業の進め方	第1回から第4回は講義、プレゼンテーション、討議 第5回以降はテーマに基づいたプレゼンテーションと討議を行います。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回学生と相談の上日時は決定します。 状況によりZoomによるオンライン開講となることがあります。Zoomを利用する場合には、事前にアクセスID,パスワードを通知します。					
(8)成績評価の方法	プレゼンテーション（80%）、ディスカッション(20%)としそれぞれの内容により評価します。					
(9)成績評価の基準	レポート、プレゼンテーションに関しては (1)問題の設定が適切であり，(2)その問題の背景を説明でき，(3)その問題にある課題を指摘でき， (4)課題に対して既存の学術的知見を十分に検討でき，(5)そのうえで自分の見解を論理的に説明できており，さらに教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」，5項目を満たしていれば「かなり上にある」，4項目を満たしていれば「やや上にある」，3項目を満たしていれば「水準にある」と評価します 判定基準は90-100点（秀）、80-89点（優）、70-79点（良）、60-69点（可）、60点未満（不可）とします。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	随時相談に応じます。学部実習等により在室時間が一定しないため、事前にメールでご連絡の上研究室に来てください。 下里研究室：保健学科中校舎4階 メール：sshimos@shinshu-u.ac.jp					
【テキスト，教材，参考書】	適宜，紹介します					